

第2期神栖市地域クラブ活動推進計画（案）に関するパブリックコメント
主な意見と市の考え方

1 意見募集期間 令和8年8月1日（土曜日）～8月31日（月曜日）

2 意見提出者数及び意見等件数

提出者数 4名

意見等件数 6件

3 意見の内容と市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
1	全ページ。 部活動の主役は誰？全て大人の事情で進んでいるように思われます。 子どもたちのスポーツ・運動する機会を失うことのないよう希望します。	現在の部活動では少子化等の影響により学校単独ではチームを組めない部活動が増えております。また、特に波崎地区では、近年活動を停止する部活動も増えてきており、進学した学校に興味のある種目の部活動がないこともあります。今後更に少子化の影響が強くなること、個人のニーズが多様になることを考慮すると、部活動の地域展開は必須であると考えます。 部活動の地域展開は、子どもたちの活動環境を持続的に整えることを目的の一つにしており、これにより子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の機会を失うことのないように進めてまいります。
2	7ページ 「かみす地域クラブ」以外の「その他の活動」を中学生に周知するとよい。ボランティア活動や広報かみすに載っている講座にも中学生が参加できるとよい。	自主運営型クラブを更に広げ、重点方針の一つである「周知広報と理解促進の取り組み」を進めることにより、中学生の多様な活動機会を創出し、充実したスポーツ・文化芸術活動となるよう、環境整備に努めてまいります。

No.	意見の内容	市の考え方
3	吹奏楽の地域の楽団と一緒に活動できるとよい。植松小を拠点に活動している団体がある。	市では、中学生と一緒に活動していただける団体を自主運営型クラブとして募集しております。今後、地域クラブ活動を継続的に支える仕組みを整えたり、地域展開に関する情報を分かりやすく届け地域全体の理解と参画を広げたりするなかで、自主運営型クラブを増やせるようにしてまいります。
4	保護者の送迎が大変で家庭によって格差が広がることが予想される。生徒が自分で移動できる範囲で、今現在開催されている取組に参加できるようにすることを望みます。	少子化の影響により、複数校が合同で行う活動が必要である一方、集まる生徒の居住範囲が広がることによる送迎の負担は課題の一つであると捉えております。直営型クラブでは、月ごとに活動する学校を変えるなど、移動の負担を少しでも分散させるよう取り組んでおります。
5	吹奏楽は各中学校単位での実施で参加者が非常に少ない状況である。楽器の置き場所（特に大型楽器、打楽器）が各校になっているためどうしても分散の必要がある。基盤整備として、公民館、ホール等に楽器置き場を設け、生徒がそこに集まり一元化して運営する方向が望ましい。学校の音楽室を使う現状では、先生方も解錠のために活動に参加する必要があり本来の目標を達成できていないと思う。市内小中学校には、少子化で使わない楽器が多くあります。一元化活動を望みます。生徒も人数が多い方が楽しいです。	吹奏楽については、当初各中学校でのクラブ実施をしておりましたが、現在は合同での活動を行っております。学校に眠る余剰楽器の活用や活動場所等につきましては、今後も検討を進めてまいります。
6	直営型クラブの運営（委託先）はどういう選考方法なのか明確にすべき。そもそも今の委託先以外に候補があったのかどうか。 指導者としてはとてもストレスフルな運営だと感じている。	かみす地域クラブの運営は、公募型プロポーザルにより決定いたしました。運営面での課題につきましては、改善に努めてまいります。